

きょうと福祉倶楽部だより

2020年 4号

厚生労働省より「布」マスクが届きました

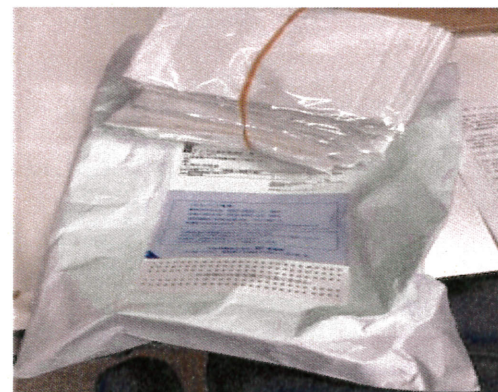
新型コロナ対策として厚労省は世帯に二枚の「布マスク」配布に先駆けて介護施設従業者やその利用者にと布製マスクを配布しています。

そのマスクがきょうと福祉倶楽部にも届きました。それも同じ品物を4度も別便で。送料の無駄遣いです。現物を見てがっかり。

WHOはこの布マスクを「どんな状況でも勧めない」と公表しています。

4月2日付、朝日新聞では「5年前に英国の医学誌に発表された論文では、1607人の医療従事者を、医療用マスクをつける人、布マスクをつける人、マスクをつけたり外したりする人にわけて感染リスクを比べたところ、布マスクをつけた人がもっとも呼吸器疾患やインフルエンザ症状を示した人が多かったという。」と報道しています。

その布マスクを現実に見て、次々に在宅の高齢者や障がい者のお宅を訪問するホームヘルパーに「これは渡せない」とあらためて認識を強めました。



ヘルパーの感染は多くの利用者に影響を与えることになり、きょうと福祉倶楽部では高額であろうともサージカルマスクを手してヘルパーには着用させることとします。

このマスクは在宅の高齢者への配布をすることを厚労省は求めています。しかし気休めの域を出ないマスクをあたかも安全度が増すと配布して良いものか、また配布をするということは多くの世帯を巡回するスタッフが感染拡大の引き金になりかねません。このような理由からきょうと福祉倶楽部ではお申し出のあった利用者の方だけにお届けすることと致します。希望される方はきょうと福祉倶楽部へご連絡下さい。出来るだけ早くお届け致します。

それにしても国は本当に現場の声を聞いてくれません。在宅高齢者の感染はホームヘルパーから拡大する可能性もあるのです。ヘルパーが感染源にならないようにする。それが私たちの責務です。在宅で万が一感染したら医療機関にバトンタッチです。在宅での感染を防がなければ医療機関に影響します。なぜそんな事が行かないのでしょうか？

在宅介護の最前線に布マスクなんてあり得ない事です。「竹槍でB29」から「布製マスクでコロナ撃退」へ。

政治の貧困に絶望です。



有限会社 おとくに福祉研究所
きょうと福祉倶楽部

〒617-0824
長岡京市天神4丁目7-12 ハイソ東台101号
TEL 075-958-2560 FAX 075-957-2808
E-mail info@fukushi-club.com